

10月25日正午必着

明石春浦先生書

萬室邊江次  
 孤城對海安  
 朝霞晴作雨  
 濕氣晚生寒  
 思爾欲辭官  
 孤枕小樓梧葉風  
 眞山民

萬  
 明 張瑞圖  
 翁  
 清 劉墉  
 翁  
 清 趙之謙

萬室邊江次  
 孤城對海安  
 朝霞晴作雨  
 濕氣晚生寒  
 思爾欲辭官

孤枕小樓梧葉風  
 眞山民

朝霞晴作雨  
 濕氣晚生寒  
 思爾欲辭官

濕氣晚生寒  
 思爾欲辭官

(李嘉祐)

明石幸子書

一燈幽館菊花雨  
 孤枕小樓梧葉風  
 眞山民

一燈幽館菊花雨。

孤枕小樓梧葉風 (眞山民)

ものさびた住居のともしびのもと、菊花にふる雨をながめ、ひとりねの小樓に梧葉に吹く風をきく。

奈良人は秋の寂しさ見せじとや社も寺も丹塗にはせし (森 鷗外)

寄「永嘉崔道融」 (司空図)

旅寓雖難定 乘閑是勝游  
 碧雲蕭寺霽 紅樹謝村秋  
 戍鼓和潮暗 船窓照島幽  
 詩家多滯此 風景似相留

永嘉の崔道融に寄す 司空図

旅寓定め難しと雖も 閑に乗ずるは 是れ勝遊  
 碧雲 蕭寺霽れ 紅樹 謝村秋なり  
 戍鼓 潮に和して暗く 船窓 島を照らして幽かなり  
 詩家 多く此に滯まる 風景 相留むるに似たり

白露降寒蟬鳴 (禮記)

半山残月露華冷 (韋莊)

兩岸野風蓮萼香 (韋莊)

白露降り寒蟬鳴く。

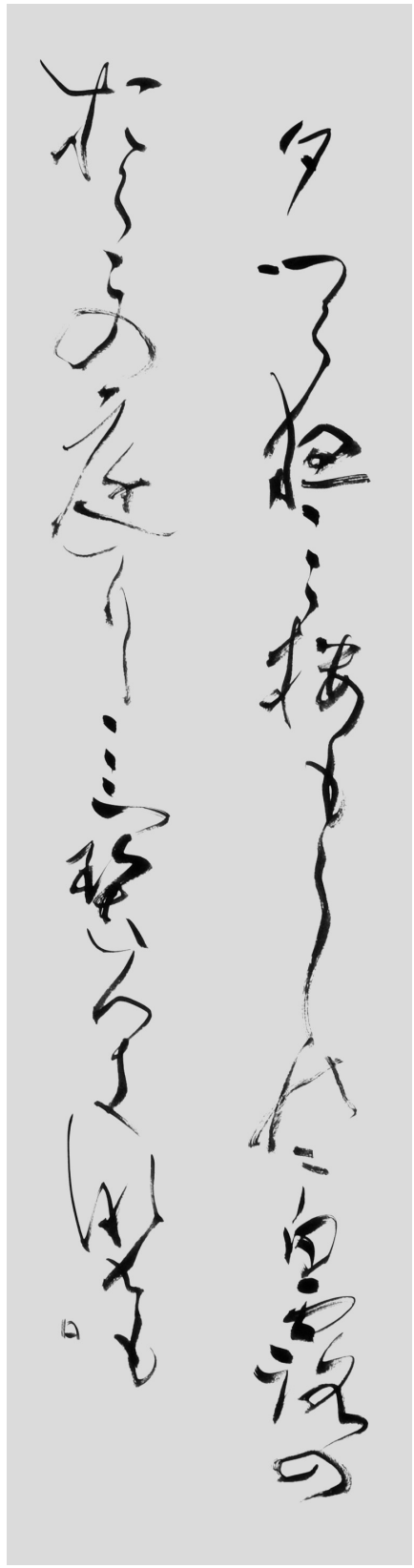
半山の残月露華冷かに  
 兩岸の野風蓮萼香し

白露が降り、ひぐらしがなく。

残月は冷かに蓮は香を放っている。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。



夕つく夜こ、ろもしのに 白露のおくこの庭にこほろぎなくも  
 夕月夜心もしのに 白露の置くこの庭にこほろぎ鳴くも (湯原王)

雨宮春聲先生書

半紙部規定課題A

10月25日正午必着

未返 一 約 書

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

10月25日正午必着

行書



隸書

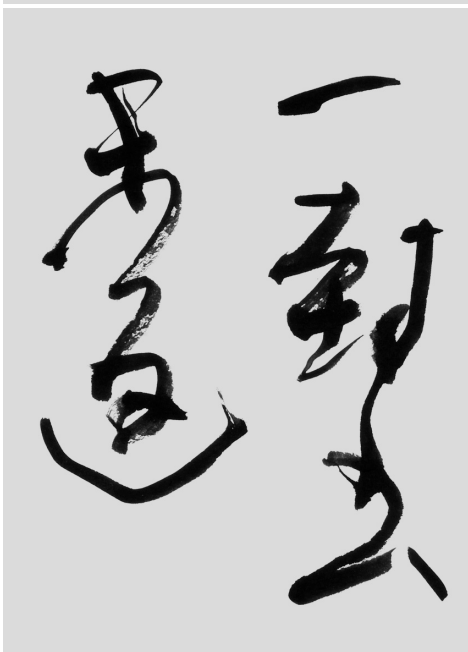


明石春浦先生書

草書



行草書



ここ楚の地の人々が竹枝を歌うのをきけば さすらいのこの身、涙はこぼれて衣をぬらす  
 異郷にながく旅寓し 寒い夜、しきりに故郷に帰る夢をみる  
 一通の手紙を送ったが、返事も来ないうちに 数知れぬ木々の葉はすっかり飛び散ってしまった  
 これより南へ向かい、洞庭湖を過ぎて行けば 故郷のたよりはいつそ稀になるにちがいない

客中

于武陵

楚人歌竹枝

游子淚沾衣

異國久爲客

寒宵頻夢歸

一封書未返

千樹葉皆飛

南過洞庭水

更應消息稀

客中

于武陵

楚人 竹枝を歌い

遊子 涙衣を沾す

異國 久しく客と為り

寒宵 頻りに帰るを夢む

一封の書 未だ返らざるに

千樹 葉皆な飛ぶ

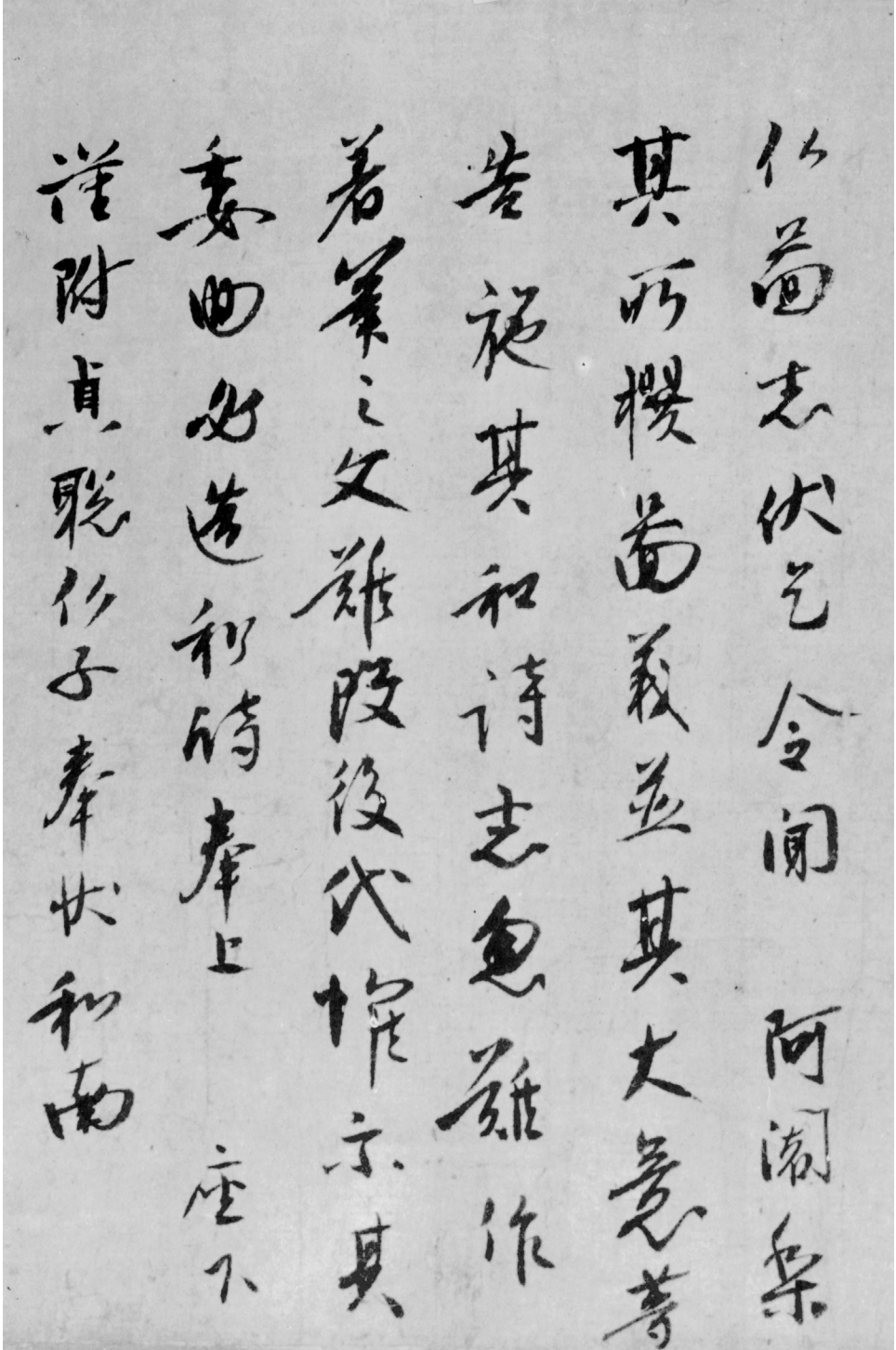
南のかた洞庭の水を過ぐれば

更に心に消息稀なるべし

(出典)

朝日新聞社刊

「三体詩」下より



佛圖者。伏乞令聞阿闍梨。其所撰圖義並其大意等告施。其和詩者忽難作。著筆之文。難改後代。惟示其委曲。必造和詩。奉上座下。謹附貞聰佛子。奉狀。和南。

未だ其の礼仏図なる者知らず。伏して乞うらくは、阿闍梨に聞か令めんことを。其の撰する所の図義並びに其の大意等を告施せよ。其れ和詩なる者は忽ちに作り難し。著筆の文は後代に改め難し。惟れ其の委曲を示さば、必ず和詩を造りて座下に奉上せん。謹んで貞聰仏子に附して、状を奉る。和南す。





其の撰する所の図義並びに其の大意等を告施せよ。其れ和（詩なる者は忽ちに作り難し。）



其の撰する所の図義（並びに其の大意等を告施せよ。）

平安 最澄・久隔帖

最澄は、近江滋賀郡の人で十二歳で仏道に入り、天台大師を景仰し経籍を研めることが深かった。延暦二十三年（八〇四年）遣唐使が派遣され、この時最澄をはじめ空海・橘逸勢も随従し入唐した。最澄は天台の奥義をうけて秘典を授けられ、密教を学び翌年に帰朝した。合わせて、晋唐の書法や多くの名跡が将来されたため、書に新生面を開き、千古に伝うべき能書家を輩出する源となった。

この久隔帖は状首に、久隔清音の句があるためにこの名がある。弘仁四年（八一三年）十一月二十五日、空海のもとにいる最澄の弟子、泰範に宛てた書状である。現在知られる彼の尺牘（手紙）としては唯一のもので、内容は、空海が贈られた詩の序にみえる法身礼図並びに大意について問い合わせ、更に法華梵本一巻を貸与せんことを書き添えたものである。

筆致は清浄純雅、気品の高い書であり、「集字聖教序」（王羲之）を習ってきたことは誰もが認めることである。天台宗の宗祖らしい高い澄徹した美しさを感じられる。  
(春廣)

10月25日正午必着

教育部毛筆



の ぎく  
野 菊

中学一年

雨宮春聲先生書



く る み  
胡 桃

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

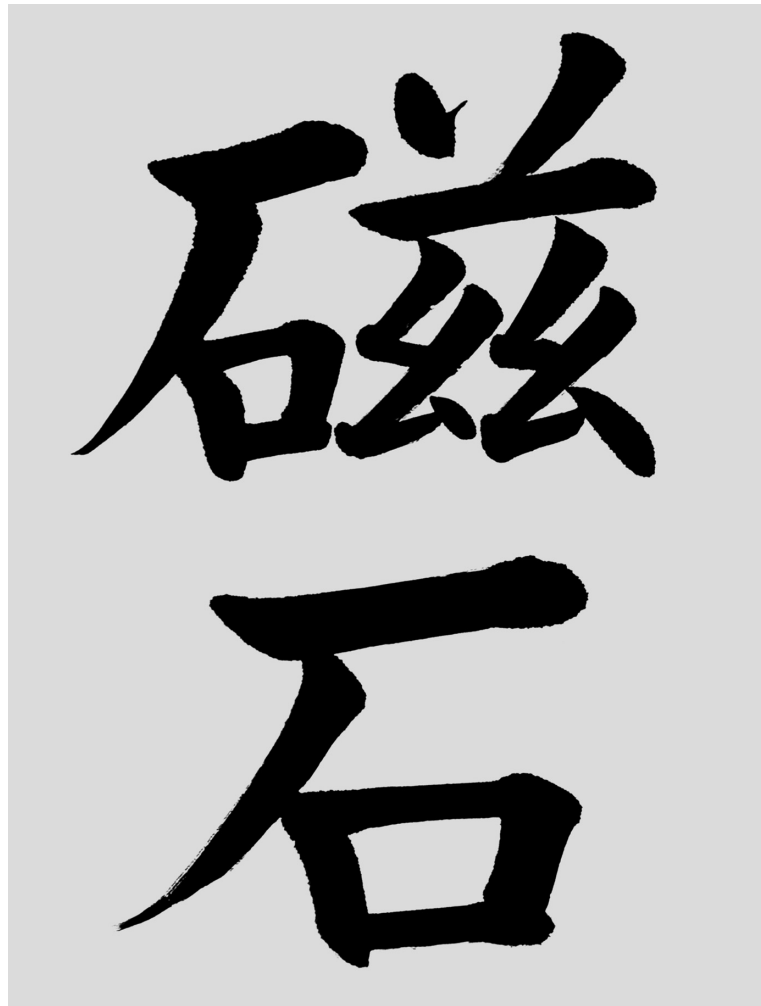


げん  
現

だい  
代

小学五年

榎戸春龍先生書



じ  
磁

しゃく  
石

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



10月25日正午必着



かつ

りょく

小学三年

藤田幸春先生書



ぶん

びい

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

く も 小学一年・幼年



森戸春濤書

こう だい 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

氷の柱が立っていた	どうくつの中は寒く
-----------	-----------

小学五年

西の方の空が夕焼け	で真っ赤にそまった
-----------	-----------

小学六年

儀式で旅人を迎える	村人たちが伝統的な
-----------	-----------

中学

く人生の姿は美しい	苦難にたちまちまきぬ
-----------	------------

一般(級位)

山遠くたなびく雲に映る日もやや薄くなる秋の夕暮	もやみくもなる秋の夕暮
-------------------------	-------------

山遠くたなびく雲に映る日もやや薄くなる秋の夕暮(小澤蘆庵)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

な	わ
た	が
し	ろ
い	の
く	よ
も	う

幼年

こ	青
ま	い
で	そ
も	ら
つ	が
づ	
く	ど

小学一年

大	こ
き	う
な	え
池	ん
が	に
あ	は
る	

小学二年

友	ち
だ	か
ち	く
と	の
あ	公
そ	園
ふ	で

小学三年

だ	十
ん	五
子	夜
を	に
そ	す
な	す
え	き
る	と

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

をとめら  
 はかゝるさ  
 びしき  
 秋のゝを  
 忍みかた  
 まけて  
 ものかた  
 りゆく  
 久

八閑  
 悲支  
 恵多末  
 遣天

(會津八一)

岩本景楓先生書